

科目群	科目区分等	科目名	担当教員名	対象学年次	学期
専門科目	2単位 保育の本質・目的	児童家庭福祉	茂木 健司	1年次	秋

授業のキーワード	児童家庭福祉の基礎理念、現代社会と子どもを巡る諸問題、児童家庭福祉政策
授業の概要	児童家庭福祉の理念や法制度、現場で直面している今日的な課題などを取り上げ、保育者として必要となる基礎的事項をバズセッションやロールプレイなどを取り入れ、アクティブラーニングを行います。
期待される学習成果（目標）	1 他職種と協働できる保育士としての基礎意識を得ます。 2 特に困難な状況におかれた子どもやその家庭への支援について、保健・医療・教育・司法など多角的にとらえられるようにします。

授業展開

	テーマ	内 容		テーマ	内 容
第1講	ガイダンス、受講上の留意点、	スケジュールなど全体の枠組みの確認と、バズセッションやロールプレイなど学びの方法を確認します。	第9講	社会的養護1	児童養護施設の歴史と現状、および社会的養護の体系を学びます。
第2講	現代社会における児童家庭福祉の意義と歴史の変遷	児童家庭福祉の理念と概念、児童家庭福祉の歴史の変遷、現代社会と児童家庭福祉について学びます。	第10講	社会的養護2	社会的養護の元で暮らす子どもの危機とその対応を理解し、社会的養護の将来展望について学びます。
第3講	子どもの貧困と一人親家庭	児童家庭福祉の根本的対応としての子どもの貧困と一人親家庭について実情と支援について学びます。	第11講	非行児童への対応	触法行為、虞犯行為におよぶ子どもをどう理解すべきかを学び、支援方法を法や制度面からも学びます。
第4講	児童家庭福祉と保育	児童の権利擁護としての児童家庭福祉、児童家庭福祉の一分野としての保育について学びます。	第12講	障がいとともに生きる子どもへの対応	障がいの理解について、種類からだけで理解するのではなく、3つのレベルで理解し、支援制度を学びます。
第5講	児童家庭福祉の制度と実施体系	児童家庭福祉の制度と法体系、行財政と実施機関、児童福祉施設、専門職・実施者について学びます。	第13講	地域における要保護児童対策	「要保護児童地域対策協議会」の現状と課題について理解し、他職種との連携について学びます。
第6講	児童相談所の現代的役割と課題	児童虐待の定義、被虐待児童の特質、虐待の発見のポイントについて学びます。	第14講	世界の子どもと児童家庭福祉の将来展望	世界の子どもの実情と今後の児童家庭福祉制度のあり方、将来展望を議論・考察します。
第7講	児童虐待とドメスティックバイオレンス1	児童虐待の定義、被虐待児童の特質、虐待の発見のポイントについて学びます。	第15講	まとめとふりかえり	まとめと振り返りを行い、自身の今後の学習課題の明確化を目指します。また、レポートの説明を行います。
第8講	児童虐待とドメスティックバイオレンス2	虐待ケースに対してその支援方法について、虐待者への支援と被虐待児童への支援の両面から学びます。	定期試験		児童家庭福祉の全体を理解を問い、自身の今後の学習課題を明らかにするレポートを求める。
評価方法		学期末のレポート50%、授業貢献度（授業態度、事例検討への参加、小レポート等）50%により、総合的な評価を行う。詳細については、初回の授業で説明を行います。			
使用する教科書（必ず購入してください）			参 考 文 献		
浅井春夫編著『シードブック子ども家庭福祉』（第二版）建帛社 2012年			随時、授業中に紹介します。		